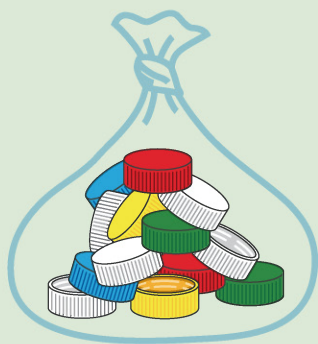


ペットボトルキャップの 回収にご協力ください

ご家庭で出たペットボトルのキャップを集めると
ビーチクリーン用のポリバッグに生まれ変わります



財団事務所（旧ビジターセンター）前に
回収ボックスを設置していますので
ご家庭で出たペットボトルキャップの
リサイクルにご協力をお願いいたします

※この循環型再生プロジェクトを利用して「竹富町指定ゴミ袋」の製造を計画中です



一般財団法人
竹富島地域自然資産財団

〒907-1101
沖縄県八重山郡竹富町字竹富 207-1
TEL:0980-85-2800 FAX:0980-85-2801
MAIL:info@taketomijima.okinawa

竹富島地域自然資産財団 季刊誌

てーどうん JOURNAL

ジャーナル

2022.Feb. Vol.10.



©Maehara Motoo

竹富島では、そんなに遠くない昔。
あまり便利とは言えないけれど
自然体で暮らせる心豊かな時代がありました。

私たちは入島料で、島がいつの間にか失ってしまったもの、
忘れてしまったものを取り戻すべく活動を進めてまいります。

01 やいま SDGs シンポジウム

八重山でサステナブル（持続可能）な事業、活動に挑戦している個人や団体が一堂に会したイベント「第1回やいま SDGs シンポジウム～THE EARTH VOICE」がANA インターコンチネンタル石垣リゾートにて開催されました。会場には石垣市長をはじめ多くの行政関係者や環境活動家、環境保全に関心を持つ市民などが訪れました。財団は理事が講演やパネルディスカッションに登壇するほか、展示ブースを設け、来場者やオンライン視聴する人びとに向けて、活動をPRしました。財団の代表としてシンポジウムに登壇した理事長は、財団設立の意義や入島料導入の経緯を説明し、「我々、竹富島の人間は来島する皆さんを同じく島民として考えております。どうか共にこの美しい島を守っていきましょう」と熱く訴えると、会場から大きな拍手が沸き起こりました。



02 麦の植え付け

小学校や保育所に通う子どもたちと保護者が参加して、麦の植え付けが行われました。まず全員でタネをまく場所の小石を取り除き、1列に並び、等間隔で麦を植え付けていきました。子どもたちは真剣な眼差しで説明を聞き、年長の子が幼い子に優しく教えながら 全員で作業を楽しみました。タネまき後には、前本隆一さんが魔除けの三結びを畑に挿し、全員で豊作を祈願しました。前は粘り気のある「もち麦」という種類の麦を植えたのですが、環境に合わず全体的に実入りが少なく不作だったため、今回は以前栽培し豊作であった「さいたま」を採用しています。



03 修学旅行に伴うゴミ拾い



季節柄、修学旅行など団体で来島する観光客の方が増えています。それに合わせて道端のゴミも増える傾向にあります。そこで財団理事とドリーム観光のスタッフさんでコンドイ浜やカイジ浜、西栈橋、駐輪所、集落内のゴミ拾いを行っています。

04 南十字星ポストカード



入島料の返礼品で使ってくださいと長野県在住の川口浩さんから竹富島の西栈橋から撮影した南十字星のポストカードを200枚いただきました。コンドイの海面に南十字星が映りこむ美しい写真がポストカードになっています。この場を借りて御礼申し上げます。

05 2021年度入島料収受実績

